

誰もが暮らせる地域づくりフォーラム 2015

いのちと存在の価値



10:00 開会
ご挨拶
李国本修慈

～誰もの社会的はたらきを明確に～

2015年9月13日(日) 10:00～17:00
いたみホール6階 中ホール

10:10

～私たちの暮らし方～

平本歩さん バクバクの会編集長
岸本彩さん 医療的ケア連絡協議会代表
折田涼さん NPO法人ポムハウス代表理事

☆コーディネーター☆
篠原文浩さん

みち相談支援事業所



12:00

ランチタイム



「みやのまえ文化の郷」で
お昼時をお過ごしください(*^_^*)

13:30

♪お楽しみコンサート♪

素敵な歌とお笑いと！

☆浩美&真由美LIVE☆
ソプラノ 青野 浩美さん
ピアノ 新 真由美さん



14:30

「しえあきつず」のご紹介

児童発達支援・放課後等デイ

今年4月に誕生しました

新しいアジトです!(^_^)!

大塚 裕水さん しえあきつず管理者



14:45

♡おやつタイム♡

今年も鴻池の誇る「すみれ家」さんの
和菓子を頬張りましょう(#^_^#)



15:00

これまでのこと これからのこと

日浦美智江さん

社会福祉法人訪問の家理事
横浜市栄区社会福祉協議会会長



☆聞き手☆

尾瀬順次さん

NPO法人てくてく

合いの手はご来場のみなさんで...



17:00

閉会

渾身会は18時～ 長寿蔵です^o^://

ようこそ伊丹市へ!

ご機嫌な1日をご一緒しましょう^o^; //

いたみホールにお越しいただいたみなさまへ

李 国本 修慈

いたみホールにお集まりいただいたみなさん、ありがとうございます。今年もまた(あたりまえに^^;)9月がやってきて、恒例となりましたフォーラム、今年も各地から個性豊かなみなさんにお越しいただくということで、とっても喜んでいきます。

今年も台風が次々とやってきたり、大雨や落雷、竜巻等の被害が各地から届いています。被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げるのと共に、災害時における私どもの在り方を改めて考える季節でもあります(一昨年のフォーラムの際も大変な状況だったことを思い起こします)。

また安保法制の行方もどうなんだろう?と思いつつ、「災害」だとか「安全(の)保障」という言葉に否が応でも敏感にならざるを得ない多くの方々の思いや存在をもっともっと明らかにしていかなければと思うところでもあります。

さて、今年のフォーラムですが、毎年どなたにお越しいただこうか?と悩みつつ…、なんですが、毎年・毎度のテーマである「いのち・存在の価値」ということを改めて!という思いを込めてお願いしましたみなさんが登壇してくださいます。

まず、午前中は、おそらく(^)関西最強っ!といえますか、日本の中においても最高!(だと思う)の三人衆あるいはトリオ^^;に話を伺います。

お一人めは平本歩さん(尼崎市在住)。みなさんお馴染みだとは思いますが、その歩み(駄洒落ている訳ではありません^^)はホントにスゴイっ!のひと言です。今回は、今(とこれから)の暮らしぶりを含めて語っていただく予定です。私個人的には、歩さんのお母さんと呑み友だち^^;、今は亡き父・弘富美さんにもステキなお話を伺ったことが思い起されます。その父上さまの言葉のひとつ「邁進せよ!」。歩さんの邁進ぶりをお聞きしましょう^^;/。

つづいての登壇は岸本彩さん(箕面市在住)。とにかくお洒落な彩さん。私がお近付きさせていただいて数年ですが、我がアジト(このいけスペース)にもお越しくださり、ステキな介助者みなさん、それからとっても優しく(たぶん^^;)お母さんとも仲良くさせていただいています。多くの思いをお聞かせいただけるのかと思います^^;。

そしてトリには折田涼さん(池田市在住)。涼さんものとってもステキな子ども時代^^;変な言い方ですが、就学前から成人になるまで)を経て、今も多忙な日々を過ごされていてしゃいます。私的には、姉(?^^;)みどりさんとも仲良くさせていただいてまして、今回のお話を楽しみにしています。

午前中のコーディネーターは、カンアラ・フィフティーズ(わかりますかね?少しネーミ

ングが変わりましたが^^;)のお一人、相談支援事業所みち(新たに独立開業っ!されました
です^^;)のシノハ・ラーさんコト篠原文浩さんをお願いしています。篠原さん、今回のテ
ーマである「命」のこと(尊厳死であるとか臓器移植に出生前診断等)に関して高い意識と
多様な知識を持ち合わせていらっしゃる方で、登壇いただいたみなさんのお話しと併せた
コーディネートを期待しましょう^^;)。

おそらく(きっと)濃厚なお話しをお聞きいただいた後、12 時頃からはランチタイムとい
うことで、ぜひ伊丹の街並み(伊丹郷町等と呼ばれています)を散策がてら美味しいランチ
をお楽しみください。みなさんに配布させていただいてますマップをご参考に^o^;//(マッ
プは仙台在住の伊丹物知り人:佐伯美佳子さんが作成くださいました^^;)。ランチタイムも
60 分以上(予定では 90 分ですが若干時間が押すこともあり得ます^^;)予定していますので
ゆったりと、あるいはホールにお戻りいただき、今回参加いただいたみなさんとの交流を
お楽しみください。

午後からは、ゆったり気分の後、眠たくなりそうな方も(おそらく)眠れない(^~;)、お馴
染みのお二人、ソプラノ漫談師:青野浩美さん&絶叫マシーン愛好ピアニスト:新真由美さ
んのコンサートをお楽しみください^^;)。今回、スペシャルゲストとして岡山から重実カン
ナさんがドラマーとして参加くださいます^^;)。お楽しみにっ!!。

そしてコンサートの後は、私どもしえあーども、いよいよこの 4 月から「児童発達支援
事業」と「放課後等デイサービス」なる事業を開始してしましまして(^~;)、その報告(た
ったの 5 か月程ですが)を管理者:大塚裕美が行います。事業所名は「しえあきつず」(いち
おスタッフみんなで考えました^^;)と言いまして、ステキなかわいい子どもさんたちと
室内の壁や天井に描かれたステキな絵(熊本在住の佐々木あゆみ画伯:イラストレーターさ
んが描いてくださいました^^;)、日当たりの良いビアデッキ(スタッフみなさんはサンデッ
キ等と呼んでいますが^^;)が自慢です。ぜひ、感想をお聞かせくださいね^^;)。

しえあきつずの紹介の後は、私たちの暮らします伊丹市鴻池(実は知る人ぞ知る清酒発祥
の地でもありまして、鴻池の村の入り口にはその石碑もあります^^;)の誇る「すみれ家」
さんの和菓子をご賞味ください^^;)。幾種類かの和菓子を用意させていただいていますので
お楽しみに^^;)。また「すみれ家」さん、ホームページはもちろん、ツイッターやフェイス
ブックも活用されてまして、美味しかったら「いいね」をクリックしてあげると喜ばれる
のかと思います^^;)。

そして大トリは日浦美智江さん。こんな業界(どんな?ですが^^;)にいらっしゃる方はみ
なさんご存知かと思うのですが、私たち(^~;)概ね重症心身障害などといわれる方々とのお
付き合いのある者たち、ですかね^^;)にとっては神様のような御方でして(^~)、私たちの
アジト(このいけスペース)には日浦さんの写真(私も一緒に写らせていただいています
が^^;)を祭らせて、いえ飾らせていただいています。また、私のデスク横には 2011 年のラ
ーの会横浜大会の際に日浦さんにいただいた言葉を置きながら日々精進(ほとんど進歩が
無いのですが…)しているところでして、そんな日浦美智江さんを伊丹市にお迎えできたこ

とを心から喜んでいます。今回もこれまでの様々な出来事とこれからの私たちの在り方を考えさせていただけるお話しになるのかと思います。特に若い親御さま(若くなくてもいいのですが^^;)、初めてお聞きする方はかぶりついてお聴きいただければと思います。

その日浦さんの聞き手として、こちらカンアラフィフティーズの一人:尾瀬順次さんをお願いしています。尾瀬さん、見た目通りのカラッキー(ご存知でしょうか?、向日市のキャラクターです^^;)というだけではなく、とっても優しいお方です。尾瀬さんも随分と古くから地域での生活をまさに創ってこられた方で、日浦さんのお話しを通して、また今回のフォーラムを振り返りながら今回のテーマを掘り下げただけなのかと思います。ぜひ皆さんも「合の手」をよろしく願いいたします。

という訳で今回もステキなみなさんにお越しいただき 2015 年の 9 月 13 日(日)が心に残るような楽しい 1 日となりますように願っています。またこの場で新たなお出会いもあることかと思っています。そんな出会いを大切にしながら私たちが関わらせていただくみなさん、未だお会いしたことのない方々、全ての方がご機嫌に暮らしていけるようにと願っています。改めて参加いただきましたみなさまに感謝です。ありがとうございます!!!。

- ※ 今回、青野浩美さんの取材で NHK さんがいらっしゃいます。「ハートネット」という番組(11 月あたりに放映予定だとか)です。もしかしたら映像に映り込むかも知れません。青野浩美さんの出番は午後からですのでランチタイムの際にお化粧直し(お色直し)をと^^;。どうしても映り込めない(撮られたら困る)という方はお申し出ください。同様に今回のフォーラムの模様、後にユーチューブにもアップいたします(こちらの方はアドレスを知る方のみご覧いただけるようにいたします)ので同様に申し出ください。
- ※ 遠方からいらしたみなさまは、せっかくの伊丹市^o^;/です。伊丹郷町の街並みや小西酒造さん老松酒造さんの店頭(お土産もあります)、市立美術館(有料)や工芸センター(無料)等にもぜひご散策ください。
- ※ 京都が本拠のクリエイツかもがわさんが今回も本の販売を行ってくださります。多彩な本の数々、ぜひお手にとっていただきご購入ください。青野浩美さんの本を購入いただくと当人直筆のサインがいただけると思います^^;/。
- ※ 宮城県東松島市の「おのくん」が今回も数名いらっしゃっています。震災後、東松島市小野駅前の仮設住宅で育てられ(作られ)ていますソックスモンキーさんです。ひとり(一体)1,000 円でお引き取り(里親)になっていただけます。但し、直ぐに売り切れているように思います^^;、その際にはすいません。
- ※ ラーの会(重症心身障害児者といわれる方々らと共に生きる会)のロゴ入りタオルも販売しています。700 円^^;。ぜひお買い求めください。また、ラーの会への入会も随時募集しています(入会金や会費無し、メリットはそこそこ^^;ML があり、1.5 年に一度くらいのペースで全国大会も行っています)。
- ※ なにかとご不明な点や気になるコト等、遠慮なく「しえあーど」ロゴのシャツを着たスタッフにお問い合わせください。

～私たちの暮らし方～

バクバクの会編集長

平本 歩 さん

医療的ケア連絡協議会代表

岸本 彩 さん

NPO 法人ポムハウス代表理事

折田 涼 さん

お三方のことをご紹介する際、みなさんご存知でしょうが「バクバクの会」（人口呼吸器をつけた子の親の会）のこと、1990 年（だったと思います^^;）に結成されたその会のことを語らずにはいられません。詳細は「バクバクの会ホームページ」※1、あるいは arsvi.com ※2 等をご覧いただきたいのですが、結成時からの親御さんたちの思いが時を経て、現在の上記みなさんが肩書を持つ成人・社会人となられたことを私も喜ぶ者の一人です。

古い記事（先の arsvi.com から）を読むと《「バクバク」の創刊に寄せて》（1989 年 5 月 21 日創刊とのこと）という船戸正久先生（私も仲良くさせていただいています^^;）の寄稿とともに平本弘富美さん（歩さんのお父様：故人）の寄稿文に引き付けられます。

そこには「在宅療養を目指して」と題する段落に《「患児」から「障害児」へ》というくだりがあり、今まさに繰り返しとなりますが、お三方がまさに「地域の住人」として暮らされていることに深い感銘と大きな希望を抱かせていただいています。もちろん大変なこともあった（今も有る?）でしょうが、おそらく全国のバクバクっ子たち、関わるみなさんたちのみならず、みんなの目標・希望であるのかと思います。

今回のフォーラムに先立ちまして、お三方のご自宅にお邪魔してきました。それぞれらしいお部屋と共通した点のひとつとして「ステキな介助者」（という言葉が適切かは?ですが、一緒に居る人たちがいらっしゃるということ。

じっくりお話しをお聞きしましょう^^;//。

※1 バクバクの会 <http://www.bakubaku.org/>

※2 arsvi.com <http://www.arsvi.com/index.htm>

～お楽しみコンサート～

ソプラノ漫談師

青野 浩美 さん

絶叫マシン愛好ピアニスト

新 真由美 さん

伊丹ではお馴染み、といいますか、今や全国的にお馴染みになりまくっている青野浩美さんと新真由美さん。今年も快くコンサートをしていただく運びとなりました。

お二人とは私(国本)、幾度か一緒に遊んでいたたりしたのですが(^;ディズニーランドや道東の摩周湖やサロマ湖にオホーツク海、静岡のちびまるこちゃんランド等^;…)、そのはち切れ様やお土産の買いっぷりだとか、まさに筆舌し難い「おもしろさ」です^;。

浩美ちゃん(すいません、タメ口で…)に関しては、コンサートをお聞きした方だとそのギャップ(歌声と喋りの)から、なんとなく想像がつくのかと思うのですが、真由美ちゃん、コンサートでは、かなりのボーカルフエイスなのですが「急流すべり」(等とは今時は言わないんですかね^;)等では、それはもう大変な騒ぎです^;(画像:赤色のポンチョの方が真由美ちゃん)。

そんなけったいなお二人の歌と喋りとピアノを楽しみましょう^;/。

今回はNHKさんの取材が入られます。目指してます(マジですっ^;)紅白が近付いた感がありますね^;。

私も随分と浩美さんの歌をお聞きしましたが、その歌声のステキさと愉快的喋くり(もちろんこけまでに体験(体感)されてきた様々なこと等のお話も含めた)は絶品だと思います。彼女もまた変貌(進化ですかね^^;)を遂げながら「更なるけったい道(そんな道あったんかい?ですが^^;)」を突き進んでいるように思います。

おもしろいまままでいつまでもっ!と、お二人に感謝です。



「しえあきつず」のご紹介

管理者

大塚 裕美 さん

今年(2015年)の4月にスタートした「指定児童発達支援事業所」及び「指定放課後等デイサービス事業所」です。これまでしえあーどは例えば「生活介護」等の日中活動と呼ばれる事業は行ってこなかったのですが、今回(と言っても事業を開始するまでにはけっこうな時間が必要となりますので1年以上前からの構想として)これらの事業を始めることとなりました。

始めた(始めようとした)理由等は大塚から説明がある(かな?、無い)かも?ですが^^;、「超重症」だとか「医療ニーズの高い」等といわれる子どもさんたち(及びご家族等)がどうしても(この「どうしても」についても考えてみたいものです)自在に動き難い状況がある(と言いますか阪神間あたりもなんだか以前よりもそんな傾向が強まっているようにも思えます)中、しえあーど看護師さん(といわれる人)たちが中心となって、アジト(このいけスペース)から離れた場所に平屋の一軒家をお借りして始めました。

かわいい子どもさんたちのご覧いただけるのかと思います。



絵は熊本県合志
市在住のイラスト
レーター佐々
木あゆみさんが
描いてください
ました^^;



これまでのこと これからのこと

社会福祉法人訪問の家理事

横浜市栄区社会福祉協議会会長

日浦 美智江 さん

日浦美智江さん。この数年(おそらく 2011 年 8 月のラーの会横浜大会あたりから)で、ようやく私なんぞも「神」さま!と尊敬させていただいています方とお話しができるようになりまして、この度待望の機会を得ることができました^^;

日浦さんについては多くの方がご存じであるのと同時に、社会福祉法人訪問の家のホームページ内「日浦美智江前理事長のページ」にも詳細な記録が残されています。

せんだっては、今回のフォーラムの打ち合わせを兼ねて横浜市栄区桂台のホワイトハウス(^^; 朋の隣にある社会福祉法人訪問の家本部をそのように呼んだりしています^^;)に日浦さんを訪ねさせていただきました。

日浦さんといえば『朋』で、朋といえば 1986 年の立ち上がり(このあたりのお話も私たちにとっては伝説的なのですが)というこで有名なのですが、今回も日浦さんは「あれから 43 年」とおっしゃられ(^^; 私が幾つの頃だろう?等と思ったり^^;)、1972 年に始まった横浜市立中村小学校訪問学級のお話から始まりました。お話しの内容をここで全て記すことはとてもできないのですが、2 時間以上に渡るお話を聞かせていただき改めて感動するのと共に日浦さんの口調の滑らかさと、元気(過ぎではないか?^^;)さに驚いてしまいました^^;。まさに歴史ともいえる時の長さと、更にそれと同様、あるいはそれ以上に重ねられてきた「人との出会い」の数々(ほんとに次から次へと出てくるその時々における要となる方々…です)こそが日浦さん、朋、訪問の家の偉大なる歴史なんだなあと思いました。

様々なお話しをお聞きした中で(随分と昔のお話しですが)ある母親が子どもさんと共に心中しようとしながら果たせず、そんな思いを仲間の母親みなさんが聴きながら、結局「いい死に方なんてのはないのよ」との言葉で前を向いて行く…、そんなお話しの数々と、これからのこと、わたしたちに大きなメッセージをいただけるものかと思います。



画像は日浦さんと訪問の家理事長:名里晴美さん(中央)、朋施設長:庄司七重さん(左)。この画像もかなり貴重っ^^;!!

コーディネーター

相談支援事業所みち

篠原 文浩 さん

聞き手

NPO 法人てくてく

尾瀬 順次 さん

もう伊丹でのフォーラムに参加いただくみなさんにはお馴染みのお二人に今回もお願いしました。強面だけどとっても優しい篠原さん^^;、カラッキーだけどとっても円やかな尾瀬さん^^;。二人とも「カンアラフィフティーズ」(正式?には関西アラウンドフィフティーズと申しまして、少し前まではフォーティーセブンズ、だったりもしたのですが、随分とあたりまえにお年頃になっていきます。いちおー気分はフィフティーンズなんです^^;)のメンバーです(と言っても何をするでもなく名乗るだけの愉快なお友だちです^^;)。

で、今回、それぞれに午前と午後をコーディネートしていきながら、今回の、というよりも私たちの持ちつづける(持ちつづけたい)テーマ「存在の価値」、まさに「いのち」のことについて、いらっしゃったみなさんと共に考える1日となればと願っています。

そして、午前のお三人のお話し、午後からの青野浩美さん&新真由美さんのコンサート、しえあきつずにいらっしゃる輝く子どもさんたち、日浦さんのお話しから、みんなが大切な役割をもって生きていくコト、即ち今回のサブテーマでもある～誰もの社会的はたらきを明確に～私たちの思いをみんなで確認できればと思います。



誰もが暮らせる地域づくりフォーラム2015っ!

生まれてくれてありがとう 2015年9月13日(月)いたみホール

歌:青野浩美さん

ピアノ:新真由美さん

1. 生まれてくれて あいがとう 唯(ただ) 生き抜く 君の姿に

We are dreaming

You are smiling

涙流れても 笑顔に変わるよ

それが君たちと 僕らのちから

作詞:Isssei yabuuchi

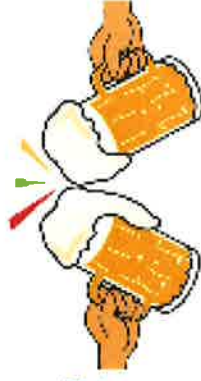
作詞:空国本修慈

Love しえあーど しえあーど...

ラー!!

2. 君の 鼓動が 響き伝わる

僕の ころろに 染み入りにんで



We are dreaming

You are smiling

生きていくことが 止められや しないさ そうさ 君たちの いのちが力



Love しえあーど しえあーど...

しえあーど



重なる心と情を繋ぐといわれる方々と共に生かす会



「バクバクっ子・いのちの宣言」文

<ひとつ>

わたしたちは、みんな、つながっているにんげんです。
いっしょうけんめいに生きています。

<ふたつ>

いま、せかいは、いのちのじだいです。
わたしたちには、そのいのちを、ひとりのにんげんとして、
たいせつにすることが、もとめられています。

<みっつ>

どのいのちも、ころしても、ころされても、じぶんでしんでもいけません。
とおといしにかたは、ありません。
とおといいきかたと、とおいいいのちがあるだけです。

<よっつ>

わたしのかわりも、あなたのかわりもありません。
わたしたち、にんげんは、わたしのいのちを、せいっぱい、
いききるだけです。

<いつつ>

わたしたちは、わたしたちのいのちをうばうことをゆるしません。
わたしたちは、わたしたちをぬきに、わたしたちのことをきめないでとさけび、
ゆうきとゆめ、きぼうをともだちに、にんげんのいのちのみらいにむかいます。

自分らしく生きること

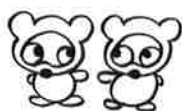


第4回 島はちセミナー



くらしを豊かにする “表現”

ぽんぽこ 太鼓演奏



ぽんぽこ

★1997年、個人で音楽コミュニケーション・和太鼓コースとして活動がスタート。2007年「八王子市の地域デイグループ事業」として認可され、2011年に「NPO法人格」を取得。2012年から子どもたちは「放課後等デイサービス事業」として行い、2014年から青年たちは八王子市の地域生活支援事業の「日中一時支援活動」として認可される。また、お母さんたちは「NPO法人ぽんぽこ地域支援活動」として活動を行う。子どもたちの表現活動を大切にしている団体。

青野 浩美 コンサート&トーク



青野 浩美(あおの ひろみ)氏

★声楽家を目指していた矢先に、原因不明の神経性難病を発症。手足が動かなくなり、それに加えて無呼吸の発作におそわれる。やがて、呼吸を維持するために「気管切開」が必要であることを医師に告げられ、命を守るため、やむなく気管切開に踏み切る。歌手としての活動は、「前例がないから無理だ」と告げられるが、諦めず、自身の障害と向き合い、闘い続ける。家族や支援者に支えられ、スピーチカニューレで話をし、歌もうたう。夜間人工呼吸器、車椅子ユーザー。

2015年

日時

11月3日(火)

文化の日

*13:00 受付開始

13:30 ~ 16:00

13:30 開会のご挨拶
ぽんぽこ 太鼓演奏
休憩

14:20 青野浩美 コンサート&トーク

休憩

15:30 対談 ———— 大淵 和子氏 (ぽんぽこ代表者)

青野 浩美氏 (声楽家)

16:00 閉会のご挨拶 ———— 小沢 浩氏 (島はち 所長)



当センターホームページからお申し込み下さい
<http://www.shimada-ryoiku.or.jp/shima8>



FAXでお申し込みの場合は

下記項目をご記入の上、FAXでお送りください。

- ①お名前 (フリガナもご記入下さい) ②連絡先
③その他 (車イス等の利用の有無等がありましたらご記入下さい)

FAX 042-634-9589

会場

八王子学園

八王子高等学校

(東京都八王子市台町4-35-1)

JR中央線 西八王子駅 南口より徒歩5分

● 駐車場はありません ● 保育はありません

費用

1000円

*当日 受付にてお支払い下さい
*学生は無料です

定員

先着 200名

*定員を超え、ご参加頂けない場合のみご連絡いたします

申し込み
締切り

10月27日(火)

*定員になり次第 締め切らせて頂きます

主催：島田療育センターはちおうじ

なちゅらん 菰野

10・1(木)

オープン

24時間 365日

ご利用いただける施設をめざします。

- ✿ **実施事業**
- 重症心身障がい児デイサービス どりーむ 定員5人
(児童発達支援 及び 放課後等デイサービス)
 - 重症心身障がい者生活介護 どりーむ 定員15人
送迎と食事提供あり(一部要相談)
 - ショートステイ 定員4人 (準備中)

- ✿ **特徴・思い**
- ひとりひとりの関わりと笑顔を大切にしていきます。
誰もが自分らしく生きたいという思いを形にしていきます。

10/1(木)からのご利用を9/11(金)よりTEL・FAXにて随時受付いたします。(お名前と電話番号をお知らせください。)担当相談支援員さんが見える場合は、ご相談の上ご連絡ください。また、ご相談、ご質問がございましたらお気軽に下記までお問い合わせください。

- ✿ **内覧会**
- 9/25(金)・26(土)・27日(日)
いずれも10:00~15:00

- ✿ **オープニングイベント**
- 10/3(土) 10:00~11:30
(音楽療法)を実施します。



連絡先 **なちゅらん 菰野**

〒510-1224 三重県三重郡菰野町川北47-1

TEL 059-340-6533 FAX 059-393-2200

『重心ラーの会』

《重症心身障害児・者》といわれる方々と共に生きる会 発足趣意書

2010年5月1日 李 国本 修慈

2010年、新年度となって暫くですが、なにかと暮らし難さが増していくような…だとか、この国のいろんなことが揺れ動き、迷走のように感じられてしまうそんな中、私たちが日々地域で共に暮らしています「重症心身障害」といわれる方々らにとって、その方々こそが主体としての思い（主張）を今こそ、支援者といわれるこれまでの諸先輩方々の活動により重層的な実践例とを共に、表示・発信をしていくべきかという思いに至り、ここに※「重心ラーの会」（詳細仮名：「重症心身障害者・児といわれる方々と共に生きる会」、略称仮名：「重心ラーの会」、以下「重心ラー」と記してみます）を設立・発足させようと思うところです。

「重心ラー」の目指すところですが、まず、その思いとして、この10年程（私自身が本格的に地域生活支援活動に関わり始めてからの凡その年月）の期間において、「人の暮らし」に関して、様々な変化（改善への試み）があった筈ですが、多くの方々の「暮らし難さ」は、ある点（少なく無い部分で）より一層の深刻さを呈しているように思えます。

私たち「重心ラー」と自称する者にとっても、先人みなさんの思いに続き重なりながら、ご本人さんそれぞれにある「思い」の表出をと共に頑張ってきましたが、結果として、まだまだ希少障害カテゴリーとされる少数派の方々の、あたりまえにある筈の「普通の暮らしの実現」は広く普及されずにいます。

そこには、それぞれの方々に（間違いなく）在る「存在価値」が軽視されている、あるいは違った（と思われる）解釈をされているように感じるところです。

そこで私たち「重心ラー」としましては、そういった（そういわれる、そうとされてしまっている）彼女・彼等の「思い」を彼女・彼等を主体とした「主張」として提示・発信していければ（行かなければ）と考えています。

今、中央においても、障がい者制度改革推進会議等における施策の方向性の議論がなされているところですが、「重症心身障害」といわれる方々らの「普通の暮らし」の実現を目指すことが、少数派といわれる方々らを含んだ「誰もが暮らせる地域」へと繋がるものだと考え、そんな方向性を目指していくところです。

ぜひ、思いを共にしていただけるみなさんとのネットワークの構築並びに活動を始められればと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

※『重心ラー』とは、接尾語に『ラー』をつけることによる「大好きな」という意味的なことです。語源は西宮市染殿町にある総合福祉センターあたり（詳細仮名称を『重症心身障害者・児といわれる方々と共に生きる会』とする）。

『重心ラーの会』 設立宣言

本日、2010年7月17日、この日、この場を持って『重心ラーの会』の設立を宣言します。

『重心ラー』とは、マヨラーと同様な意味である末尾に「ラー」をつけることによって、「重心（重症心身障害）」といわれる方々が大好きだという意味です。マニアという言葉も類似語であるかと思います。

更にその深い意味は、私たち、この地域、この社会に『あなたたちが必要なんです』ということであり、『決してあなたたちを外さない』ということで、もう少し言うと重症心身障害といわれる方々による『私たちを抜きにして私たちのことを決めないで』ということです。

私たち「重心ラー」は、彼女・彼等を主体者として、彼女・彼等、布いては誰もが暮らせる地域づくりを進めていきます。

私たち「重心ラー」は、どんなことがあろうとも『彼女・彼等を中心（あるいは重心）において、彼女・彼等と共にの主張』をしていきます。

私たち「重心ラー」は、彼女・彼等と共にの「相互主体者」としてエンパワーしていきます。

2010年7月17日

事務局 李 国本 修慈

ぜひとも、そんな思いに共感できる方、共に進んで（生きて）行こうと思われる方、そんな方々はぜひとも「重心ラーの会」にご賛同（ご参加）ください。

あくまでも緩やかなネットワークながら核心部分は思いを共にし、ご本人さん、支援者、家族、関係（関心のある方）者、どなたとも繋がりがながらのネットワークとして、全国各地で生きておられるご本人さん及びご家族の実態や、支援者と共に生きている実践を見聞しながら、できるだけ広く発信しつつ共働して、それらの実践を実体化し、普遍的なしくみへと繋げていければと考えています。

決して絵空事ではなく、多くの方々と繋がりがながら推し進めたいと思います。

ぜひとも「重心ラーの会」へのご参加を宜しくお願いいたします。

「重心ラーの会」設立宣言が意図すること

ひとつは純粋に「あなたのことが大好きだ」という思い、その対象となる全ての人々（これは重症心身障害といわれる方々のみでは無くっての）に存在価値が間違いなくあるということの、大切にありながら、何故か大切になされていない（あるいは大切にできない）社会、地域、個人の価値観を変えていこうということ。

それには「特別な存在」だとか、様々な既成の処遇に「仕方がない」とされる（あるいはせざるを得ない～なんてことも本当は有り得ない筈ですが）存在では無いということの証明＝実践（全国津々浦々を見渡すと様々な実践があつたりします）をもっともっと明らかにして、世に示していく、発信していくということ。

何より、支援者等と言う輩（私たちですが）が、更には「重心ラー」と名乗る輩こそが、その実践を彼女・彼等、重症心身障害といわれる方々を主体とし、共に彼女・彼等の「思い」・「主張」を社会に伝えていくということ。

生産性の有無や優劣だとか費用対効果などといった言葉が人の価値観基準であるかのような現代において、彼女・彼等の地域での生き活きとした暮らし（生き方・活動）こそが、何より社会にとってプラス効果のある「社会的はたらき」だということをもっともっと世に示していくことだと思っています。

そして、私たち支援者（などという者たち）も、「重心ラー」となって、共に、相互主体として、この社会に打って出ようではないですか!と。

本当に何が大切で、何を大切に社会なのか?国なのか?と。

もちろん、主張は大切ではありますが、そこに無用な対立構造は持ち込まないことにも重きを置きたいと考えています。

誰もが思っていると信じたい「地域で生きる」ということに向かって、みんなで繋がりがあっていきたいということです。

ぜひとも、ご賛同の程、宜しくお願いいたします。

2010年7月17日

事務局 李 国本修慈

入場無料

第12回 三重県小児在宅研究会

～ 地域で暮らす子どもたちのために ～



日時

2015年

10月25日(日) 13:30～16:40 (13:00 開場)

会場

三重県営 サンアリーナ
レセプション室 無料駐車場有

〒516-0021

三重県伊勢市朝熊町鴨谷 4383-4

TEL : 0596-22-7700



アクセス

■近鉄：二見浦表参道よりタクシーで5分

■伊勢二見鳥羽周遊バス（CANバス）

※詳しくはサンアリーナホームページをご確認ください

■三重交通バス

【近鉄：五十鈴川駅前】（夫婦岩東口行または五十鈴川駅前行）
約17分

【JR：二見浦表参道】（五十鈴川駅前行） 約20分

【近鉄：宇治山田駅】（鳥羽行）→ 荘（伊勢）→ 五十鈴川駅前行
約20分

【伊勢市駅前】（鳥羽行）→ 荘（伊勢）→ 五十鈴川駅前行
約23分

「地域でこどもがより良く暮らすために」

馬路 智昭

日本赤十字社伊勢赤十字病院 小児科 / 新生児科 新生児科部長

「みんながご機嫌に暮らしていくために」

李 国本 修慈

有限会社しえあーど NPO 法人地域生活を考えようかい

プログラム

13:30～13:35 ■開会の挨拶

世話人

仁尾 かおり

三重大学 医学部看護学科 母性・小児看護学講座 教授

13:35～13:55 ■伊勢市発表

地域話題提供

13:55～15:05 ■特別講演

地域でこどもがより良く暮らすために

馬路 智昭

日本赤十字社伊勢赤十字病院 小児科 / 新生児科 新生児科部長

座長

坂田 佳子

三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター 小児科医

15:05～15:25 ■休憩

15:25～16:35 ■特別講演

みんながご機嫌に暮らしていくために

李 国本 修慈

有限会社しえあーど NPO 法人地域生活を考えようかい

座長

米本 俊哉

三重県立特別支援学校北勢きらら学園 教諭

16:35～16:40 ■閉会の挨拶

岩本彰太郎

三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター センター長

【お知らせ】

当日、同会場開催 9:30～12:30 (9:00 開場)

第四回 草の実リハビリテーションセンター 地域療育支援研修会

テーマ：肢体不自由児の学校生活への支援

～医療と教育が今できること、これから求められていること～

主催：三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター

共催：三重県 三重県医師会 三重県小児科医会 三重大学医師会 三重県看護協会 三重県理学療法士会 三重県作業療法士会
三重県言語聴覚士会 三重県歯科医師会 三重県薬剤師会 三重県病院協会

後援：三重県立特別支援学校長会 三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会

【申込先・事務局】 下記まで、メールまたはFAXでお申し込みください

三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター

TEL : 059-231-5768 FAX : 059-231-5435 E-Mail : children-tcc@mo.medic.mie-u.ac.jp

御礼と追記…

李 国本 修慈

改めまして、本日はありがとうございます。この数年、どんどん色んな方との出会いが増え、全国に友人・知人が増えたことを実感するとともに喜んでいきます。

本日お配りした書面は以下のとおりです。

1. 配布資料として綴ったモノ…表紙はこのフォーラムをお知らせさせていただく際に使用したチラシです(このチラシも仙台在住の伊丹物知り人:佐伯美佳子さん作成)。

中身の説明ですが、

- A. 冒頭のご挨拶の後、登壇いただくみなさんのご紹介(私=国本の勝手な紹介です^^;)。
 - B. 青野浩美さんが歌ってくれる(と思います、たぶん^^;)「生まれてくれてありがとう」の歌詞カード。どうでもいいのですが、いちおー私の作詞です^^;。作曲はプロの issei yabuuchi さんです。
 - C. みんなでとっても大切にしたい「バクバクっ子 いのちの宣言」文。
 - D. 11月に八王子で行われます青野浩美さんが出演する「島はちセミナー」のチラシです。お近くの方、そうでない方もぜひっ!です。
 - E. これからの活躍が期待されます三重県菰野にオープンします「なちゅらん」さんのチラシ。私もとっても仲良くさせていただいています^^;。
 - F. ラーの会の設立趣意書など。随時入会募集中です^^;。
 - G. 10月末に三重県伊勢市で行われます小児在宅研究会のチラシ。ここ数年、医大だとか病院、療育センター等でお話しさせていただく機会を頂くことが多くなりました。「連携」だとか「ネットワーク」等の言葉が溢れていますが、大切なコトを医療という枠内のみでなく、多くの方々と考えたいと思います。と、とってもええところ(伊勢や志摩)ですので、どなたか一緒にしませんか?^o^;//。
2. 午前中に登壇いただきました平本歩さん、岸本彩さん、折田涼さん、お三方のパワーポイントの配布資料。但し、折田涼さんからの依頼で講演終了後にお配りいたします。
 3. いたみホール周辺のマップ(佐伯美佳子さん作成)。
 4. その他…当日飛び込みで配布させていただくモノ(があるかもしれません^^;)

NEWSっ!!

ラーの会全国大会 in 沖縄!が1月31日(日)、てんぷす那覇(国際通り近く)で開催されます。

ぜひ日にちを空けて^^;、飛行機も早割でチケット取って結集しましょっ^^;。

詳しくは近日中にお知らせいたします。